



議会だより

■発行 奥尻町議会

■編集 広報編集特別委員会

☎01397 2-3412 番



新たな不燃物ゴミ処分場の視察

平成19年第3回定例会 …… 各会計補正予算、条例改正、人事案件など

決算審査特別委員会の設置 …… 平成18年度奥尻町一般会計・特別会計の決算審査など

総務文教常任委員会開催 …… 総務課・住民課・国保病院所管事項について協議

一般質問 …… 青坂賢二議員 ・ 制野征男議員

第3回定例町議会



【商工会女性部の傍聴】

平成19年第3回定例町議会は、9月13、14日に招集され、平成19年度一般会計補正予算及び各特別会計補正予算、奥尻町基金条例等を審議し、いずれも可決され、14日に閉会しました。なお、平成18年度各会計

歳入歳出決算の認定は、決算審査特別委員会に付託しました。

補正予算

▽平成18年度一般会計補正予算(第4号)：原案可決
歳入歳出に1億3千3百35万8千円を追加し、予算総額は、36億1千9百53万8千円となりました。
補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

地方特例交付金	△1億7万9千円
地方交付税	1億1千6百53万4千円
国庫支出金	23万6千円

道支出金

△1億85万5千円

財産収入

13万6千円

寄附金

3百万円

繰入金

1億18万4千円

繰越金

8百54万4千円

諸収入

6百35万1千円

町債

30万7千円

〔歳出〕

議会費

1万7千円

総務費

△1億57万4千円

民生費

3百87万円

衛生費

1億5百52万1千円

農林水産業費

商工費

5百71万4千円

土木費

6百70万5千円

消防費

2百15万円

教育費

1百62万9千円

教育費

2百1万円

公債費 △56万8千円
諸支出金 7百80万円

□平成19年度介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号) ……原案可決
償還金など、合計5百10万2千円を追加し、予算の総額は2億2千3万8千円となりました。

□平成19年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) ……原案可決
役員費など11万8千円を追加し、予算の総額は5千4百43万4千円となりました。

□平成19年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) ……原案可決
工事請負費2百10万円を追加し、予算の総額は1億3千5百81万6千円となりました。

□平成19年度国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第1号) ……原案可決
収益的収支で、一般会計繰入金1億円を追加し、予算の総額は6億8百25万8千円となりました。

条例

○奥尻町基金条例の一部を改正する条例 ……原案可決

林 隆久氏から島の林、森を保全維持事業等に対する寄附があり、基金として運用するため、条例の一部を改正しました。

○町長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例 ……原案可決

証券取引法の改正、郵政民営化法等の施行に伴う法律の整備により、条例の一部を改正しました。

町長の給料を減額する条例可決

平成19年8月20日付の住民監査請求に基づく監査結果を踏まえ、行政の執行に不信感を与えたその責任の一端を補うため、自らに減俸処分（100分の10を一ヶ月）を課したものです。

その他

次の方が議会の同意を得て、再任されました。

○奥尻町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

平成17年3月8日に策定

した当該計画を、過疎対策事業債対象事業追加に伴い、変更しました。

奥尻町字奥尻811番地

小山 文 男 氏

任期 平成19年10月1日

平成22年9月30日

人事

◇奥尻町固定資産評価審査委員会委員の選任について

………同意

奥尻町字奥尻746番地

上野 史郎 氏

任期 平成19年10月1日

平成23年9月30日

◇奥尻町教育委員会委員の任命について………同意
次の方が議会の同意を得て、再任されました。

各会計 決算を付託

平成18年度奥尻町一般会計・各特別会計決算の認定については議長及び監査委員を除く8名の議員で構成する「決算審査特別委員会」を設置し、閉会中の継続審査となりました。
なお、委員長には紀伊国俊美議員、副委員長には制野征男議員が選出されました。

委員会報告

閉会中の継続審査として開催された総務文教常任委員会の概要について、お知らせします。

総務文教常任委員会

8月3日開催

□総務課所管事項

町財政と行政改革について

□住民課所管事項

行財政改革について

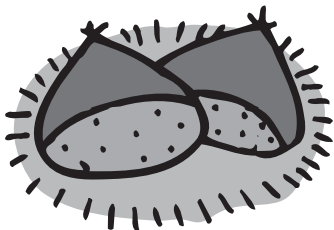
□国保病院所管事項

国保病院の経営改善について、それぞれ話し合いが持たれました。



議会運営委員会

議会運営委員会は九月七日開催し、九月定例議会の会期を十三日から十四日の二日間とし、議事日程を決定し、また、決算審査特別委員会の設置、意見書の扱いなどについて審議しました。



一般質問

フェリー会社のパレット積小荷物廃止の動向について

青坂 賢二 議員

〔質問〕

フェリー会社がパレット積小荷物扱いを廃止する動きがあることから、町長は議長らと本社に向いたと聞いているが、議会には報告されていない。

一方的な会社によるパレット積小荷物の廃止は納得できないし、船底積にされた場合、事故の発生も予測され、町民への影響も大きいことから、会社との交渉の内容、今後の取組についてどのように考えているのか、明確にすべきではないか。



近々に実施されないとの感触を受け今定例会で報告に

和田 良司 町長

〔答弁〕

8月10日本社には議長ら町内関係者と出向き、8月6日には関係者と協議した上での訪問となったもので、パレット積小荷物扱いの継続を求める要請書を提出してきた。

会社側では利用客、車両の減少、燃料の高騰から経営が厳しい環境にあり、パレット積小荷物でも7月末実績でも27%の減との説明がされ理解してほしいとのことであった。

議会への報告については、近々に実施されないと感触を同行した皆さんと持ったことから9月定例会への報告になったものです。

国営草地の今後の活用方法について

制野 征男 議員

〔質問〕

町長は国営草地事業が目的に沿った事業として展開されているという認識なのか、それとも失敗だと考えているのかお聞きしたい。

また、従来、私が提起してきた花畑、果樹園など大卒との提携で土壌調査などを実施してきませんでした。が、早急に対応策をとるべきとの考えはないか伺います。

今後に期待がもてる農業施策

和田 良司 町長

〔答弁〕

近年、食に対する安心で安全な農畜産品を消費者が求めている傾向から、素牛の販売価格も比較的安定し、畜産農家も飼養頭数を

増やしたい意向にあることや、新規参入者及び後継者を畜産学校へ進学させている現状など積極的な経営改善に取り組んでおり、本町の国営草地は今後に期待できる農業施策だと考えている。

なお、花畑や果樹園などに転用するには土地改良の経費や既存農業者の合意など課題があり、土壌調査は実施していないが、観光振興に資するような球島山付近の草地のあり方を検討し、関係者と協議したいと思う。



後期高齢者医療制度 についての見解は

制野 征男 議員

〔質問〕

後期高齢者医療制度を施行しようとする政府の方策についてはどのような見解を町長はもっているのか。

また、この制度は稀代の悪法と思われるので速やかに廃止すべきと考えるが、町村会で提起する予定はあるのか何う。

安定した高齢者の医療が確保できるか考える

和田 良司 町長

〔答弁〕

急速な少子高齢化社会を迎えるにあたり、医療費が増大する状況にあることから、新たな医療保険制度体系の実現のため、平成20年度から75歳以上の後期高齢

者医療制度が創設されることになった。

全市町村が加入する都道府県単位の広域連合が運営主体となり、財政運営及び事業の広域化を通じ安定した高齢者の医療が確保できると考えているので、ご理解願いたい。



町営住宅ストック総 合活用計画事業の 状況は

制野 征男 議員

〔質問〕

町営住宅については「ストック総合活用計画」を作成し、アンケート調査等を実施することが義務づけられているが、事業の開始にあたりどのような状況になっているのか。

また、同計画にある修繕周期表を目安に計画的に修繕していくのか何う。

現段階での策定の予定はない

和田 良司 町長

〔答弁〕

当町は「ストック総合活用計画」を策定しておらず、現段階では策定の予定はなくそのためアンケート調査等はおこなっていない。

い。

修繕については、周期が来たからといって一斉に修繕することは財政的に困難であると思われ、耐用年数が過ぎた古い住宅は徐々に空き住宅になっていることから、用途廃止も考慮すると、今までどおり不都合が生じたらその都度修繕したいと考えている。



議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴しませんか!

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけです。

☆☆☆☆☆

次の定例会は12月です。☆☆☆☆☆

**奥尻ハイヤーから民
宿なべつる間の道路
拡幅急げ**

制野 征男 議員

〔質問〕

奥尻ハイヤーから民宿なべつるまでの道々拡幅は急がれる課題であり、以前、土現では19年度には工事に着手するとの説明をしていた。

当該地区は道幅も狭く、冬期間の凍結もあって、車両事故が多発する箇所であり、町は土現に頼るだけではなく、工事の遅れている原因を排除するために、最大努力をする必要があるが、現状はどのようなになっているのか。

**安定した高齢者の医療が確保できると考
える**

和田 良司 町長



〔答弁〕

19年度に事業に着手することは聞いていないが、事業が遅れている原因は北海道の限られた道路予算の中で早期に完成できる箇所を選定して効率よく整備しているとのこと。

当該地区は店舗、民宿、一般住宅の移転が避けられない地区であること、マリントウン構想との整合性や改良の線形などはっきりし

ないことから用地整理の困難性から関係者との接触もできずにいたものです。

土現では今年12月にこの地区の道路改良線形を図化し町に協議したいとのことなので、協議済み次第事業化に向け地権者に説明し、協力をお願いしたいと考えている。

なお、本町道々整備が不十分なので「道々整備促進期成会」を設置し、予算確保などの運動を進めたい。

**小荷物扱いの廃止は
決定事項・町の対応
は鈍く情報不足**

制野 征男 議員

〔質問〕

フェリー会社の小荷物扱いの廃止は決定事項であり、町の対応は鈍く情報不足だ。

フェリー会社の収支数字の明細分析、経営全体の改善など、共に知恵を出す事

態になっている。

町民への影響の大きいプロパンガスへの対応を誤ると価格の高騰に結びつくものだ。

廃止反対の姿勢にも対案をもたなければならぬし、廃止の場合の対案も持つてフェリー会社との交渉が必要だ。

事前に利害関係者としてしっかり協議して、9月末に来島する本社との交渉に備えるべきだ。

**指摘の事項を念頭に
置き対応策協議した
い**

和田 良司 町長

〔答弁〕

小荷物扱いの廃止が実行された場合、プロパンガスや建設資材、新聞などの日常生活用品を車両に積載して運搬しなければならず、住民への価格の転嫁が懸念されるので、継続を強く要請している。

プロパンガスについては一回に搬送する量が七〇〇キロと制限されていることから、北海道の補助制度の絡みがあり、慎重に対応していくが、本社との交渉にあたっては、指摘の内容で、事前に関係者と協議し、対応に当たりたい。



議場見学



いつもんにこたえてくれて
ありがとうございます。

○奥尻町議会のみなさんへ
見学させてくれてありがとうございます。
色々とお聞きしています。色々と質問させてくれてありがとうございます。

○奥尻町議会のみなさんへ
「会議室」にいらして
ありがとうございます。
はじめてあいうせきに
すわったのは、はじめて
なのでともうれしかったです。

ほんとうに会議室を見
せてくれてありがとうございます。

□引率の先生より・・・

この見学で新しく分
たことや初めて経験した
ことを大切に、日常の学
習活動に生かして生きて
います。

○奥尻町議会のみなさんへ
会議室に入れてくれてあ
りがとうございました。
いすはすわりごちがよ
くてきもちよかったです。

視察来町者 状況

「南西沖地震被災者の
復興状況」や「当町の防災
対策の取り組み」等の視察
に各方面から9団体77名の
来町がありました。

7月

福島県相馬市議会 6名
熊本県天草市議会 4名
千葉県市原市議会 9名

8月

東京都世田谷区議会 11名
長崎県長崎市議会 7名

10月

千葉県富津市議会 7名
佐賀県唐津市議会 8名
岩手県洋野町議会 18名
和歌山県議会 17名

議会広報委員研修会

○8月23日、北海道
町村議長会主催の議
会広報研修会が札幌
市、道第2水産ビル
で開催され、全道よ
り400名程の委員
と関係者が参集しま
した。

当町からは広報編
集委員3名と事務局
1名が出席しまし
た。



○広報プランナー和田雅之
田雅之講師より「議
会報づくり」の手が
かりと手順について
と題して講義があ
り、その中で、誰の
ための議会報かなど
の話もあり、参集
した皆さんは慎重な
面もちで拝聴してお
りました。



議会のうごき

8 月

- 3日 総務文教常任委員会開催
- 9日～11日 東日本海フェリー(株)との打合せ(札幌市)議長外1名出席
- 12日 平成19年度奥尻町「成人式」開催 議長出席
- 22日～24日 議会広報研修会(札幌市)議員3名出席
- 24日～25日 檜山管内町村議会議長会臨時総会(江差町)議長出席
- 28日～30日 北海道市町村職員退職手当組協議会定例会(札幌市)議長出席

9 月

- 1日～3日 三沢基地航空祭(三沢市)副議長出席
- 6日～7日 檜山管内町村議会議長会会長・副会長会議開催(江差町)議長出席
- 7日 議会運営委員会開催
- 13日～14日 第3回町議会定例会開催
- 28日 広報編集特別委員会開催

編集を終えて

6月定例議会を入院で欠席していたため、9月が改選後、初の定例議会であり、また久しぶりだったので多少の緊張で議場に入ったら何かいつもと違う風景。

普段では考えられないほどに女性の比率が多いと思いきや「商工会女性部」が傍聴にたくさん来ていた。

やはり、傍聴人が多いと、特にそれが女性ということなのかわからないが議員メンバーの質問の切れ味がいつもと違うと感じたのは私だけだったのだろうか。などと考えていたらあることが浮かんだ。

それは、他の人も同じだったみたいだ。休憩中、その話が聞こえた。

「女性の町議がいればいいな」と。

事務局に聞いたら、奥尻町で女性議員は過去にいないとのこと。

研修に行くと、全道でも管内でも議員バッジを付けた女性をたくさん見かけます。

初めて8年前に自分が町議になったときの新人研修会では25歳の他町の女性議員と名刺交換をしてみました。当時から奥尻町にも女性の議員がいればいいのと思っていたし、女性特有の視点や感性で町政を考えてもらうのも必要ではと思います。

さて、島の女性のみなさん。ぜひチャレンジを…